

三七〇八番

物思ふと 人には見えじ 下紐の 下ゆ恋ふるに
月そ経にける

三七〇九番

家づとに 貝を拾ふと 沖辺より 寄せ来る波に
衣手濡れぬ

三七一〇番

潮干なば またも我来む いざ行かむ 沖つ潮騒
高く立ち来ぬ

三七一一番

我が袖は 手本通りて 濡れぬとも 恋忘れ貝
取らずは行かじ